

## 2019年度宇部市地球温暖化対策ネットワーク総会記録

日 時：2019年6月15日（土）13：30～16：30  
会 場：宇部市総合福祉会館 ボランティア交流ホール(大)  
出席者数：約50名

- ★本総会で使用する電力のすべて(空調 84kwh+照明・機器電力 12kwh)を、山口県産の太陽光のグリーン電力でまかなった。(UNCCA の2019年度購入分：500kwh より)
- ★自家用車での来場者にカーボン・オフセット募金への協力をお願いした。

次 第：

### 第1部：総会（13：30～14：30）

総会

1. 代表あいさつ UNCCA 代表 溝田 忠人
2. 来賓あいさつ 宇部市長 久保田 后子 氏  
(急遽欠席のため、宇部市 市民環境部 理事 平山 純子 氏)
3. 議 事  
第1号議案 2018年度事業報告・収支決算報告・監査報告について  
第2号議案 2019年度事業計画(案)・収支予算(案)について  
第3号議案 役員改選

### 議 事 録

議 長：宇部市地球温暖化対策ネットワーク代表 溝田 忠人  
議 事：・議案は6月5日の幹事会にて了承済  
・承認は第1～3号各議案の審議終了後、拍手を以て行う

第1号議案(報告事項)・・・2018年度事業報告・収支決算報告・監査報告について  
・事務局より2018年度事業報告・収支決算報告  
・片岡監査より監査報告  
第2号議案(審議事項)・・・2019年度事業計画(案)・収支予算(案)について  
・事務局より説明  
第3号議案(報告事項)・・・役員改選  
・事務局より説明

### 第1号議案

質疑：なし  
承認：拍手多数を以て承認を得た。

### 第2号議案

質疑：なし  
承認：拍手多数を以て承認を得た。

### 第3号議案

質疑：なし  
承認：拍手多数を以て承認を得た。

以上で、本年度の総会議案は事務局提案の通り承認された。

## 第2部：報告会 環境講演会（14：40～16：30）

### 1. 報告会

#### 1) 「だれでもできる小学校環境教育」

宇部市立藤山小学校 教諭 4年生担任 三好 保雄 氏

#### 2) 「(株) アースクリエイティブの環境事業」

株式会社アースクリエイティブ 専務取締役

一般社団法人宇部青年会議所 理事長 中島 浩 氏

### 2. 環境講演会

演題：「気候変動と防災」

講師：気象防災アドバイザー・日本気象予報士会 理事 弘中 秀治 氏

<ご意見およびご質問>

質問) 1999年の西岐波の台風高潮被害について。満潮のせいなのか、雨が降ったせいなのか？

回答) 通常時の気圧は1013hPa、上陸した台風は960hPaで海面が50cmほど高くなる。それに加え、大きな要因となるのが風の吹き寄せ効果。通常の波は奥行きが1m程度だが、台風の場合は強烈な風が吹き続けるために波の奥行きが1km程にもなる津波のようなもの。

(東日本では高潮のことを以前は風津波と呼んでいた。西日本との用語統一の際に高潮に統一された) そのため、多くの海水が押し寄せ、あれほどまでに冠水した。

宇部が一番怖いのは高潮である。実は台風の高潮被害は前日には分かる。そのため前日に避難勧告を出している。もう20年も前のことなので、若い人は知らない。積極的に後世へ伝えていくことが大切。

質問) 災害にあった場所のことを長期的に見たときに、その場所に住み続けるのか、他に移転したほうが良くないか、強度を強くしたほうが良くないか、多くの現場を経験されてどう感じいらっしゃるのでしょうか。

回答) 現場によって異なるが、そこに住む者としてどう災害に対応していくか、考えなければならない。(被害が大きくなる地域に住むことを選択する場合は) 建物を強くすることは非常に大きな要素である。また、避難勧告が出たときには必ず避難するというのも方法の一つ。その場所に住み続けたいという気持ちがあることは非常によく分かる。一方で、孫子の代に同じ目に合わせたいか、ということをも自分の問題として考える時間をとることが大切。ボランティアに来た人間にそのようなことを言われても、「よそ者に何が分かる」という事になってしまう。地域や親しい人など、思いを共有する人との間で、次の世代のことも自分のこととして考えてほしい。また、災害時の対応策についても知恵を出し合って話し合ってもらいたい。

以上

※ 議事録は規約により事務局が作成・保管

2018年6月18日

文責) 事務局長 殿河内 誠 印